

題辭

弘文聰叡煥奎章東海詩流此濫觴仰誦

皇明光日月於今藝苑祖君王

詩到嵯峨語益精入唐才俊各馳名青龍

五筆僧空海千歲以前論四聲

兩朝宰輔出儒林  
黼黻皇猷化世深千秋  
一部管家集盡是詩人忠厚心

古來奎運有衰興  
四百年間不易徵  
戰國英雄徒逐鹿  
詩人多出五山僧

徂來學問重窮經  
經濟文章有典型  
才力本應空萬古  
惜哉徒擬李滄溟

菅廣賴梁生並時名爭先後格卑卑正聲  
別有山玄度一百年來曾不知

蒼海先生帝者師渾渾噩噩偉乎辭詩同  
陳矯六朝靡文似韓振八代衰

懷風經國選多遺河叟網羅全紀詩可惜  
保元平治後無人滄海拾珠璣

詩薈柳營書久存熙朝文學見淵源如何

今日東瀛選艤說清儒俞曲園

錦天詩話品名流博覽羣書手自收欽匱

闡來成不朽騷壇長重友霞舟

太白山人 國分高胤

## 日本詩話叢書引

余少壯得邦人所著詩話數種。嗜讀之。深喜其所論切實有益于作詩者。私有欲網羅蒐聚以成叢書之志。於是每閱坊肆。覩輒購之。或就藏書之家而借抄之。歲月之久。得致數十種之多。乃欲公諸世。謀于書估文會堂主人。主人欣然應之。會青厓國分翁聞之。謂余曰。吾亦曾有此志。今老矣。君盍併吾所有刊之。余於是理爲十有二卷。名曰日本詩話叢書。然好書之漏于茲者。尙不爲少。自今更搜羅。作續編。續續編。庶幾乎於詩學有一助焉。

大正己未歲杪

蘆洲 池田胤 撰

## 例言

一慶元以來學者輩出し、詞華の富、遙に前世に超ゆ、詩話の撰、指僕するに勝へず、而して其の書大抵絶版となれり、故に之を獲んとするに甚だ難し。今にして之が保存を許らざれば、前輩苦辛の著書は、終に絶滅に歸するに至らん。是れ余が叢書の舉を企てたる所以なり。

一版本既に此の如し、況んや綴に寫本にて傳はるものをや、本叢書に收むる所の古賀桐庵の「非詩話」津阪東陽の「葛原詩話糾繆友野霞舟の「錦天山房詩話」乙骨耐軒の「讀瀛奎律髓刊誤條記」の如きは、未だ刊行せられず、實に貴重すべき書なり。今皆其の裔孫の承諾を得て、茲に之を叢書中に收むることを得たるは、深く余の幸とする所なり。

一原著漢文にて作られたるものは之を邦文に譯し、原文と對照し以て披讀に便ならしむ。漢文には自ら漢文の格調あり、之を邦語に譯するときは往往其の語氣を失ふ。韻語に於て最も此の病あり、故に今之を譯するに當り、必しも邦語の

語格に拘はらざることあり、要は漢文の面目を發揮するにあるのみ、一原本往往魯魚の訛あり、今その明明知るべきものは、斷然之を正す、その引證せる所の語句にして、疑ふべきものあるときは出来得る限り原書を搜りて之を參せり、且青厓翁校閱の勞を取られたれば、庶幾くば舊本の誤を正すことを得んか。

一舊本間提行闕字を爲すものあり、今一切平行にして、以て體例を一にせり。  
一每篇著者の略傳及び解題を掲げ、以て讀者に便す。

一校字の一事、古人も皆之を難しとす、況んや余公私繁冗、安んぞ能く其の誤なきを保せんや、江湖の君子幸に指摘する所あらば幸甚。

一本書の編纂に付き、結城蕃堂・杉山西郭の兩君は、多大の援助を與へられたり、此に之を鳴謝す。

大正八年十二月

編者識す

# 日本詩話叢書卷之一

## 目次

詩訣一卷

白石先生詩範一卷

南郭先生燈下書一卷

唐詩平側考三卷 附錄詩語考一卷

日本詩史五卷

史館茗話一卷

作詩質的一卷

詩格刊誤二卷

共十六卷

南海 阮 瑰 ······ 一

白石 新井 君美 ······ 三五

南郭 服部 元喬 ······ 四七

松江 盧 元喬 ······ 六九

北海 江邨 玄淳 ······ 一四一

梅洞 林 綏 ······ 三一九

大峯 家田 慈 ······ 三六五

省齋 日尾 約 ······ 四一三

# 日本詩話叢書卷之二

## 目 次

詩學逢原二卷	南海	阮 瑞	一
孝經樓詩話二卷 附錄聯珠詩格序	北山	山本信有	四三
談唐詩選一卷	寬齋	市川世寧	一二三
詩學還丹二卷	春川	源孝衡	一六一
夜航詩話六卷	東陽	津阪孝綽	二〇九
丹丘詩話三卷	丹丘	芥 煥	五五二

共十六卷

# 日本詩話叢書卷之三

## 目 次

- 夜航餘話二卷  
詩律初學抄一卷  
斥非一卷  
初學詩法一卷  
詩學新論三卷  
詩格集成一卷  
詩聖堂詩話一卷  
詩山堂詩話一卷  
共十一卷

東陽	津阪	孝綽	一
雲洞	梅室	某	八九
春臺	太宰	純	一三一
益軒	貝原	篤信	一七一
東岳	原田	溫	二五五
樗園	長山	貫	三七七
天民	大窪	行	四二一
詩山	小畠	行簡	四六三

# 日本詩話叢書卷之四

## 目 次

葛原詩話	四卷
葛原詩話標記	一卷
淡窓詩話	二卷
採巖詩則	一卷
詩松陰快談	二卷
律	四卷
弊帚詩話	三卷
共十八卷	

六如慈	周	一
敬所	博	二
淡窓	廣瀨	三
奧	彦	四
春臺	建	五
太宰	七	六
採	巖	七
長野	純	八
豐山	確	九
長	玄	十
西島	一	十一
長孫	二	十二
吾	三	十三
溪	四	十四
蘭	五	十五
堂	六	十六
赤澤	七	十七
一	八	十八
置	九	十九

# 日本詩話叢書卷之五

5

## 目次

1

目次

- 葛原詩話後編四卷  
葛原詩話糾謬二卷  
淇園詩話一卷  
鉏雨亭隨筆三卷  
東人詩話二卷  
竹田莊詩話一卷  
共十三卷

六如	釋	慈周	……
東陽	津阪	孝綽	……一三七
淇園	皆川	愿	……一七七
夢亭	東	聚	……二二九
徐	居正	……四五三	<small>明 鮮</small>
竹田	田能村孝憲	……五六一	

# 日本詩話叢書卷之六

## 目次

藝苑譜一卷	僧叟	清田	絢	一
詩轍六卷 <small>收前二卷</small>	梅園	三浦	晉	四七
滄溟近體聲律考一卷	南谷	瀧川	某	二三一
幼學詩話一卷	琴臺	東條	耕	二七七
濟北詩話一卷	虎關	釋	師鍊	二九一
柳橋詩話二卷	善庵	加藤	良白	三二三
全唐詩逸三卷	寬齋	市川	世寧	四八七
共十二卷				

# 日本詩話叢書卷之七

## 目 次

詩 輴	六卷	<small>收後三卷</small>	梅園	三浦	晉……
文鏡祕府論	六卷		弘法大師	釋	空海……
老圃詩睽	一卷		澹泊	安積	覺……
詩 史 鞿	一卷		迷庵	市野	光彥……
木石園詩話	一卷		甫學	久保	善教……
共十二卷					

# 日本詩話叢書卷之八

## 目 次

作詩志穀	一卷	北山	山本 信有	一
詞壇骨鯁	一卷	九山	松邨 良猷	八一
詩訟蒲鞭	一卷	牛山	雨森 宗眞	一〇九
藝園鉏莠	二卷	九山	松邨 良猷	一五五
辨藝園鉏莠	二卷	榕齋	糸井 君鳳	二二三
錦天山房詩話二冊收上冊		霞舟	友野 煥	三〇三
共 九 卷				

# 日本詩話叢書卷之九

## 目次

藝苑談一卷	僧叟	清田	絢	一
太冲詩規一卷	倚澤	藤	太冲	四
詩憲閑話一卷	香亭	中根	淑	七
詩則二卷	東溟	林	義卿	十六
錦天山房詩話二冊 收下冊	霞舟	友野	瑛	三三
五山堂詩話十卷 收二卷	五山	菊池	桐孫	三三
共十七				

# 日本詩話叢書卷之十

## 目 次

- |                 |        |          |
|-----------------|--------|----------|
| 葛原詩話糾謬二卷收三四兩卷   | 東陽     | 津阪孝綽……一  |
| 詩律兆十一卷          | 竹山     | 中井積善……三九 |
| 詩法正義一卷          | 丈山     | 石川凹……三三七 |
| 梧窓詩話二卷          | 蓀坡     | 林瑜……三五七  |
| 社友詩律論一卷         | 泉藏     | 小野達……四二三 |
| 五山堂詩話十卷收三四五六之四卷 | 五山菊池桐蓀 | ……四五七    |

## 共 卷

大正九年一月二十日印刷

日本詩話叢書 第一卷

大正九年一月廿三日發行

非賣品

編輯者 池田四郎次

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

發行者 立田義元

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷者 高木鳥三

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷所 秀英舎第一工場

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地



# 發行所

小東京市神田區  
一一番地

文會堂書店

電話神田三二一六番  
接替東京三五一三番

大正九年四月廿八日印刷  
大正九年五月一日發行

日本詩話叢書卷二

非賣品

編輯者 池田四郎次郎

東京市麹町區有樂町二丁目一番地  
立田義元

發行者

吉

原

良

三

印刷者

原

良

三

元

右同所

印刷所

文

報

文

社

著  
權  
所  
有

# 發行所

小東京市神田區  
小川町一一番地

文會堂書店

電話神田三二一一六番  
三五番

大正十年五月七日印刷

大正十年五月十日發行

編輯者 池田四郎次郎

發行者 東京市神田區表神保町二番地

印刷者 立田義元

高橋郁

印刷所 東京市京橋區弓町二十五番地

三協印刷株式會社

日本詩話叢書 第三卷

非賣品

# 發行所

東京市  
表神保町  
二番地

# 文會堂書店

電話神田三二一六番  
郵號東京三五二三番

大正九年八月二十日印刷

日本詩話叢書 第四卷

非賣品

大正九年八月廿三日發行

編輯者 池田四郎次郎

發行者 東京市神田區表神保町二番地

印刷者 東京市京橋區弓町二十五番地

印刷所 高橋郁

東京市京橋區弓町二十五番地

三協印刷株式會社

# 發行所

東京市神田區  
表神保町二番地

文會堂書店

電話神田三二一六七  
總務東京三五一三番

大正九年六月廿三日印刷

大正九年六月廿七日發行

編輯者 池田四郎次郎

發行者 立田義元

印刷者 高木鳥三

印刷所 東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地  
株式會社秀英舎第一工場

# 發行所

東京市  
表神保町二番地

文會堂書店

電話神田三二一六  
郵便東京三五一三番

日本詩話叢書 第五卷

非賣品

大正九年十一月二十日印刷

大正九年十一月廿三日發行

日本詩話叢書 第六卷

非賣品

編輯者 池田四郎次郎

東京市神田區表神保町二番地

發行者 立田義元

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷者 高木鳥三

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷所 秀英舎第一工場

株式會社



# 發行所

東京市神田區  
表神保町二番地

文會堂書

電話神田三二一  
銀替東京三五一三



大正十年四月十一日印刷

大正十年四月十五日發行

日本詩話叢書 第七卷

非賣品

編輯者 池田四郎玄鶴

發行者 東京市神田區表神保町二番地

立 田 義 元

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷所 高木鳥三

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷所 株式会社秀英舎第一工場

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

# 發行所

東京市神田區  
表神保町二番地

文會堂書店

電話神田三二一六番  
郵便東京三五一一三番

大正十年七月廿五日印刷

大正十年七月廿八日發行

日本詩話叢書 第八卷  
非賣品

編輯者 池田四郎次郎

東京市神田區表神保町二番地

發行者 立田義元

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷者 高木鳥三

東京市牛込區市谷加賀町二丁目十二番地

印刷所 株式會社秀英舎第一工場

東京市牛込區市谷加賀町二丁目十二番地

# 發行所

表神保町二番地  
東京市神田區

文會堂書店

電話神田三二一六三  
總務東京三五一三番

大正十年十二月廿五日印刷

大正十年十二月廿八日發行

日本詩話叢書 第九卷

非賣品

編輯者 池田、四郎、次郎

發行者 東京市、神田區、表神保町二番地

印刷者 東京市、京橋區、弓町二十五番地

高橋元

郁

印刷所 東京市、京橋區、弓町二十五番地

三協印刷株式會社

# 發行所

東京市、神田區  
表神保町二番地

文會堂書店

電話神田三二一六番  
郵局東京三五一三番

大正十一年六月十日印刷

大正十一年六月十五日發行

日本詩話叢書 第十卷

非賣品

編輯者 池田四郎次

東京市神田區表神保町二番地

發行者 立田義元

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

印刷者 高木鳥三

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地  
株式會社秀英舎第一工場



# 發行所

東京市神保町二番地  
神田區

文會堂書店

電話神田三二一六番  
郵號東京三五一三番

